

# 保育だより

2023年 1月号

社会福祉法人いずみ会

幼保連携型認定こども園

つるた乳幼児園

園長 福澤紀子

北津軽郡鶴田町大字鶴田字相原68-2

電話 0173 (22) 3765

新年あけましておめでとうございます。

園長 福澤紀子

つるた乳幼児園が創設から51年が過ぎ、52年目を新たに歩み出そうとしています。創設者は、神様の愛を伝えるため(私たちは本物の愛と呼んでいます)に、ここ鶴田町に保育所を設立しました。特に乳幼児期は人生においての基礎部分であることから理念に人格教育を謳い、子どもは自らの経験や体験を通して成長していく、その力を信じて大人は見守り(受け入れ・受け止める・受け流す)応答的関わりをもって支援や援助を行っています。そして地域の全ての人が行き交い、例え貧しくとも平安な気持ちで過ごせるようにと願い、地域に支えられながら現在に至っています。

50年経っても変わらないのが、設立当初の理念です。具体的には、人生においてアクシデントに遭遇しても肯定的に捉えて生きること、この事につきると思います。特に現在次世代は予測不能と言われていています。そんな状況の中、困難な状況を受け入れて、自分の中で折り合いをつけ、回復していく力がこれからの子どもには必須だと言われていています。また我慢する強さではなく、柳の木のようにしなやかにたわみながら元に戻るイメージとされています。コロナ禍や世界情勢(現ロシアによるウクライナ侵攻及びそれに伴う物価高騰等々)の変化など、社会の将来像として多くの困難に遭遇する可能性は否定できないだろうと思います。子ども達一人一人がたくましく、しなやかに生き抜く力をこの乳幼児期に身に

つけさせたいと思います。

子ども自身が肯定的に捉えていくには、豊かな人間関係に囲まれて安心して過ごせる環境が望ましいとされています。そのポイントは

①スキンシップをとる

②暖かく優しい声でお話をする。

③子どもが求めることに応える

④やりたいことに取り組める環境を用意する

これらのことを園においても家庭においても意識して過ごしていきましょう。

一人一人の子どもがどのようなことに遭遇したとしても、その子どもがその子らしく人として生きていけるように今を大事にしていきたいものです。そのためには先ずは私たち大人が正しい心の目、美しい心の目、強い心の目、明るい心の目(四つのこころ)をもって、一つ一つの物事や事象に対して真摯に向き合い行動していかなければならないのではと思っています。

本年もよろしく願いいたします。



◆ 報 告 ◆

◎クリスマス子ども会、及びクリスマス募金  
については、次月報告させていただきます。

◆ 予 告 ◆

- ◎第5回保育学校 2月24日(金)
- ◎記念写真 2月24日(金)
- ◎成長を喜ぶ会・入園説明会  
3月15日(木)、16日(木)
- ◎修了式 3月21日(火)
- ◎進級・入園式(園児のみ) 4月3日(月)

◆ 年末年始の過ごし方 ◆

コロナウイルス感染症に対して国の考え方も緩和されて来ましたが、西北管内では拡大を続けております。この時期人との交流も多い事が予想されますので、予防には十分にお気をつけ下さい。インフルエンザ、胃腸炎も同様です。年始当園時、微熱、咳、鼻水等々、体調不良の場合は自粛をお願い致します。

● 子育て支援センターより ●

- ◎リフレッシュタイム 1月11日(木)



点  
灯  
セ  
レ  
モ  
ニー

